



緑の募金事業候補応募書

令和 6年 7月 25日

公益社団法人 国土緑化推進機構

理事長 濱田 純一 殿

応募者の名称等

〒107-0052

東京都港区赤坂3-8-8 赤坂フローラルプラザ一階

住 所

法人・団体 NPO法人マmanoアマゾンニア（登記準備中、9月中旬予定）
の名称

代表者氏名 代表理事 江澤孝太郎

TEL 080 (5699) 9476

下記の活動を行いたく、「緑の募金」の「SDGs貢献使途限定募金」による支援を希望しますので、事業候補に応募いたします。

記

1. テーマ（募集規則に定められたテーマのうち特に該当するもの1つを記載）

生物多様性の保全と回復への貢献（SDGs目標15貢献）

2. 事業名（簡潔に記載。20字以内）

希少野生カカオと森林樹木の植樹で原生林保護と森林拡大

3. 事業目的（この事業を行うことで解決したい課題等を具体的かつ簡潔に記載。60字以内）

このプロジェクトの目的は、エクアドルアマゾン地域ナポ県に位置し先住民キチュア族が住むコミュニティの原生林で発見された野生カカオ品種の自然生息地である原生林の保護及び拡大、希少な遺伝資源を保護することです。野生カカオのDNA調査、野生カカオとその他森林樹木の植樹によって、目的を達成します。

4. 事業内容（募金者の作業参加を含め、何をどれだけ実施するのか等、簡潔に記載。

複数年の事業の場合、全体計画の位置づけも明示し、別途全体計画のわかる資料を添付）

ウィニャック組合は、自己管理型の先住民の小規模農家組織であり、およそ300人の農家が高い生物多様性を持つアグロフォレストリーシステムで様々な製品を生産しています。これらの森林農園はキチュア語で「チャクラ」と呼ばれ、国連FAOから「世界農業遺産システム（GIAHS）」として認定されています。ウィニャックのコミュニティの一つであるナポ・ガレラス国立公園のバッファゾーンに位置する「パソウルコ」では、野生の未同定のカカオ品種（Theobroma cacao）が発見されました。コミュニティが所有する1400ヘクタールの原生林の中には、樹齢数百年にもなる無数の巨大なカカオの木が見つかります。未同定の品種の生態学的な重要性だけでなく、その香りは日本や世界中のチョコレートメーカーを驚かせています。繊細なラベンダーのような独特な香りを持ち、高級チョコレート市場において重要な賞を受賞する可能性もあります。貧困地域であるこのコミュニティにおいて、市場価格の10倍にもなるであろう野生カカオを保護し、将来の収入向上にとって重要です。この野生カカオの生息に適切な環境は原生林もしくは原生林に近い環境です。キチュアの人々にとって、保護すべき野生カカオを中心に在来種の森林樹木を植樹することで、原生林の保護及び森林の拡大、そして将来的な収入向上を同時に達成することができます。

プロジェクトの流れは以下の通りです。

1. 野生カカオの木の生息地調査と実の収集
約1400haの地域のどこにどのくらいどのような野生カカオが生息しているかを調査。苗床のための実の収集も行う。
野生種カカオと共に生息している森林樹種についての調査を行う。
樹高が25メートルを超える巨木に登るためのハーネスを準備、安全研修を行う。
GPSでマッピングを行なう。

2. 苗木の育苗場の設立、技術教育
植樹する地域の近くに苗床を2箇所は設立する。
野生カカオの苗木の育苗と、在来種樹木の苗木の育苗を行う。カカオ3000本、その他3000本を目安とする。

3. 育苗場の維持管理
日々のメンテナンスを行い、苗木の生存率、死亡率を調査する。

4. 先住民農家による原生林の適切な区画への植樹
原生林の中で樹木が少ない区画にカカオと森林樹の植樹を行う。
適切な植生が作られると、原生林は自然と拡大を始める。
(例えば昔ユカを作っていて草や低木が中心となっているが原生林に囲まれている区画に、野生カカオと森林樹木の苗木を植えて育てることで模擬的な原生林環境ができる。するとその後はその樹木を中心に、周囲の原生林と影響しあって、草や低木だった区画に原生林環境が自然と作られていく)

5. 野生種カカオの遺伝子研究
DNA研究を行い、遺伝子の特定を行う。

プロジェクトの社会生態学的な影響は以下の通りです。
- 野生種カカオを中心とした原生林の保護と拡大
- 気候変動の緩和および原生林の保護と野生カカオ樹の植樹によるCO2固定
- 周辺の原生林のフローラとファウナの生息地を保護し、生物多様性の損失を回避
- 野生カカオ豆によるバリューチェーンの創出を通じて小規模農家の生活条件の改善（この特別な品種の価格は通常のカカオの最大10倍に達することができる）；貧困の削減
- 新しいバリューチェーンとその周辺地域で公正かつ安全な労働条件の下での雇用創出

(注) SDGsへの貢献について、別添に記載してください。

5. 事業場所 (位置図を別途添付)

(都道府県・市町村・地番)
Pasourco, Tena, Napo, Ecuador
(所有者)
Community of Pasourco

全体面積	1400	ヘクタール
実作業面積	1400	ヘクタール

6. 現地の状況 (別途説明付きの写真、地図・図面等を添付・必要に応じて参考資料を添付)

別ファイルに添付しました。

7. 事業実施希望期間

令和 7 年 4 月 ~ 令和 7 年 12 月

8. 事業実施スケジュール (特に、募金者の現地での作業参加の機会を明記)

時期	内容
25年4月～5月	1. 野生カカオの木の生息地調査
25年5月～6月	2. 苗木の育苗場の設立、技術教育
25年6月～11月	3. 育苗場の維持管理
25年12月	4. 選ばれた農家による原生林の適切な区画への植樹
25年6月～12月	5. 野生種カカオの遺伝子研究

9. 事業完了後の取組成果の展開予定

(事業完了後の維持管理(主体、内容、期間等)や成果を踏まえた新たな展開について記載。
必要に応じて参考資料を添付)

遺伝子分析の結果は広くホームページで広報する。
定期的な報告会を実施する。
SNSやホームページを通じて写真、動画で進捗状況を共有する。

25年12月に植樹後早ければ3年程度で植樹をした野生種カカオの実がなる。
収穫量増加後、ウィニャック組合を通じて日本及び国際企業へ販売を行なってもらう。
本事業を通じてできた野生カカオのチョコレートを支援者とともに食べるイベントを日本国内で実施する。

10

区分	予算額 (千円) \$	内訳	
収入の部	緑の募金交付金	2,717	
	自己資金	0	
	その他助成金		
	合計	2,717	
支出の部	行動費	158	移動、運搬のガソリン代
	環境整備費	1,556	区画調査、整備、収集 ◎野生カカオの生息状況の把握、植樹区画の選定、GPSマッピング、苗木を作るための果実の収集作業 - WINAKの技術者1名1.5ヶ月 ¥213,300 - コミュニティから2名60日 ¥189,600 - 種の収集 ¥158,000 ◎苗床設置 - 2箇所にも苗床を設置する。技術者2名: 1ヶ月、メンテナンス(6ヶ月): 2名 ¥252,800 ◎植樹 - コミュニティの農家による原生林中で緑が少なく野生カカオの植樹に適した区画の選定。 区画の選定は技術者2名×1週間、2つの地域で各10名合計20名の農家による植樹。 ¥284,400 - 6ヶ月後の苗木の死亡率、生存率モニタリング: 技術者2名×2週間 ¥142,200 ◎環境整備費 - 品種と遺伝子解析の研究: サンプルあたり51ドル+許可+送料+材料 ¥316,000
	資材費	545	- 樹高20m以上の野生カカオのを安全に収集するための安全装備 ¥158,000 - 苗床の材料 ¥205,400 - 苗床のメンテナンス ¥181,700
	資材等運搬費		
	指導者経費	79	安全装備の講習会
	事務費	379	現地でのプロジェクトコーディネイト費、会計費
	交付金計	2,717	
	自己資金等計	0	
合計	2,717		

(注1) 自己資金等には他団体からのその他助成金を含めてください。

(注2) 募集規則の「交付対象経費」一覧で適切な科目区分をご確認ください。

(注3) 交付金での支援決定の前には、上記一覧の細分毎の額を提出いただきます。

11. 応募者の概要

法人・団体の設立年月日	NPO法人ママノアマゾニア（登記準備中、9月中旬予定）
連絡先 電話番号	080-5699-9476
F A X 番号	なし
E - m a i l	info@mamano-amazonia.org
ホームページ	https://mamano-amazonia.org/
会員数	10名（予定）
活動目的	豊かな熱帯雨林の保全とエクアドルのアマゾンチャクラ農法を実践する家族農家が安心して笑顔で暮らせる社会を目指します。
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・アマゾンチャクラを実践する家族農家の支援を通じて農家の収入向上を目指します。 ・熱帯雨林に生息する種の商用化支援を通じて熱帯雨林の保全を目指します。 ・アマゾンチャクラの認知、普及活動を行います。 ・日本とエクアドルの交流による環境教育を通じた環境保護意識の啓蒙活動を行います。
主な活動地域	エクアドルアマゾン地域に位置するナボ県の先住民組合（主にキチュア族）と協力して事業を行っています。
主な森林整備及び緑化推進活動の実績（具体的な数値を記載。「緑の募金事業」によるものは明記。必要に応じて参考資料を添付）	当法人としては本事業が初めての事業となるが、代表理事及び理事（現地駐在）は当該地域にて12年以上に渡りカカオを中心とした伝統的なアグロフォレストリー農法の作物の支援を行ってきた。

実施事業のSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について （整理表）

この整理表は、予定される事業のSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について確認するものです。

1. SDGsの17の目標のうち、予定事業が、その達成に貢献する目標にチェック「✓」をしてください。（複数チェック可）
2. チェックのある目標について、その達成に貢献する具体的な活動を記入してください。
3. 申請に当たってのテーマ以外も含めて記入ください。

SDGsの目標		チェック check	貢献する具体的な活動を記入 Please specify the specific activities you will contribute to.	
1	貧困をなくすこと	■	エクアドル原生林に生息する希少な野生種カカオの遺伝子分析で希少性を証明し、またコミュニティ内にカカオの発酵乾燥施設を設置することで野生種カカオを高付加価値で商業化し、貧困地域であるバソウルクに住むキチュア族の家族の収入向上に寄与する。	1. No Poverty
2	飢餓をなくすこと			2. Zero Hunger
3	健康であること			3. Good Health and Well-being
4	質の高い教育	■	熱帯雨林の山奥に位置するこの地域においては、子供の教育に課題を抱えている。大人の収入が非常に少ないことによって、子供の教育機会が他地域と比較して乏しい。収入源確保が子供の教育環境の向上に寄与する。	4. Quality Education
5	ジェンダーの平等			5. Gender Equality
6	清潔な水と衛生	■	清潔な水を扱える上下水道がないこの地域では衛生的な水の利活用が課題であるが、野生種カカオが収入源となることで新たな衛生設備を導入する助けとなる。	6. Clean Water and Sanitation
7	再生可能エネルギー			7. Affordable and Clean Energy
8	適切な良い仕事と経済成長	■	街や市場から遠く離れたこの地域で豊かな原生林から、その原生林を傷つけることなくむしろ活用して継続的な収入を得られる仕事を作ることによって寄与する。	8. Decent Work and Economic Growth
9	新しい技術とインフラ			9. Industry, Innovation, and Infrastruc
10	不平等を減らすこと	■	森の護り人であるエクアドルキチュアの人は政治的、経済的に長年に渡り不平等を被ってきたが、豊かな原生林からの野生種カカオの商業化によって、まず経済的な不平等を減らすことができる。	10. Reduced Inequality
11	持続可能なまちと地域社会	■	原生林を守りながら収入源を確保することで、コミュニティで仕事及び収入を得る人が増え、結果としてコミュニティがより良い発展を持続的にすることに寄与する。	11. Sustainable Cities and Communities
12	責任を持って生産し、消費すること	■	原生林から自然を傷つけずに収入を確保することによってこの取り組みによって、持続可能なチョコレート原料を提供することができる。日本の消費者が熱帯雨林保全に寄与しながら食べることができるチョコレートを提供することができる。	12. Responsible Consumption and Product
13	気候変動への対策	■	エクアドル熱帯雨林、原生林をモノカルチャーの農園にすることなく収入源することで、炭素隔離・吸収量において優れている自然を残すことができる。原生林の炭素蓄積量は1hあたり約330トン、モノカルチャーカカオ農園だと約80トンというデータもある。	13. Climate Action
14	海のいのちを守る			14. Life Below Water
15	陸のいのちを守る	■	エクアドル熱帯雨林は生物多様性のホットスポットである。この事業を通じてそこに住む人の収入を確保しつつ、多様な動植物の棲家を守ることに寄与する。	15. Life on Land
16	平和で公正な社会	■	先住民は世界的にも政治の中心から外れていたが、一方で5%しかいない世界の先住民が守るエリアが地球上の生物多様性の80%を抱えているというデータもある。先住民の権利保全、収入向上、原生林の保護は一体で重要なテーマであり、この事業はそれに寄与する。	16. Peace, Justice, and Strong Institut
17	目標のために協力すること	■	コミュニティメンバーと先住民農業組合を中心に事業を行いつつ、日本からボランティア希望の方がいればエクアドルツアーを実施し、国際協力を推進する。	17. Partnerships for the Goals

(注) SDGs（持続可能な開発目標）は、貧困や格差、気候変動、海・陸の豊かさなどのさまざまな問題を抜本的に解決することを目指す、

世界共通の17の目標です。

詳しくは、国連広報センターのサイトや国土緑化推進機構のサイトのハンドブック等をご参照ください。

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

<http://www.green.or.jp/about-us/sdgs/>